

## 次期連携地域別政策展開方針（素案）についての意見募集結果

次期連携地域別政策展開方針（以下、「次期方針」という。）の策定に向けては、各振興局所管地域で開催する「地域づくり連携会議」の議論等を踏まえ検討を進めてきました。

9月中旬より、次期方針（素案）について道民の皆様から御意見を募集したところ、3団体、3人から、延べ10件の御意見が寄せられました。

御意見の要旨及び御意見に対する道の考え方については、次のとおりです。

※「意見に対する道の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

意見の概要	意見に対する道の考え方
<p><b>【次期方針全体】</b> 北海道総合計画や北海道創生総合戦略（改訂版・素案）の意見照会において提出した意見・要望に沿って、適時・適切に取組を進めていただきたい。</p>	<p>次期方針の策定にあたっては、北海道総合計画及び北海道創生総合戦略の見直し内容と連動させるとともに、デジタル化やゼロカーボン、関係人口の創出など、これまで御提出いただいた意見・要望に沿った記載の充実を図っております。</p> <p>なお、次期方針の推進にあたっては、創生総合戦略の重点戦略プロジェクトや基本戦略と一体で取組を展開してまいります。</p>
<p><b>【次期方針全体】</b> 各地における戦略については大変すばらしいと思います。</p> <p>しかし、木材（特に製材）に関しては主な使用地が札幌中心となりますが、製材品は約100 m<sup>3</sup>/1週間くらいの使用量になることから、各地の製材工場の乾燥施設では乾燥ができず、札幌近郊に大規模な乾燥工場がなければ、道産材の使用拡大になりません。</p> <p>また、道産材の本当の使用拡大には、ハリ材の乾燥が最も重要と考えています。</p> <p>地域をまたいだ戦略も必要です。</p>	<p>御意見のとおり、道内製材工場における製材生産の多くが梱包材やパレットといった未乾燥材であることから、道内には木材乾燥施設が多くなく、乾燥材の安定供給ができていない状況にあります。</p> <p>道としては、道産乾燥建築材の安定供給に向け、業界団体等と連携し、需要者のニーズに対応しうる生産体制づくりを進めていくことが重要と認識しており、製材工場間の新たな協力体制の構築に向け検討していくとともに、引き続き、木材乾燥施設の整備等に対して支援していく考えです。</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方
<p>【道央（石狩）】</p> <p>コロナ禍で、石狩圏は札幌市と共に特定措置区域となることが多くなり、今後予想される新型コロナウイルスの第6波においても石狩圏が同区域となる懸念がある。そこで重要となるのは、関係自治体における連携関係である。報道ではテレビ会議等で知事と連絡を取り合っている様子が見られるが、自治体のトップのみならず、一般行政職の行政官レベルにおいても関係自治体とのつながりを保ち続けることが大切である。政策を決定するのは政府だが、道独自の政策づくりにも期待している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に係る対応については、これまでも管内市町村と情報や取組の共有を行うなど、緊密に連携し進めているところです。今後においても、いただいた御意見を参考に、管内市町村と緊密な連携を図りながら対応を進めてまいります。</p>
<p>【道央・「3 これまでの取組と課題」】</p> <p>胆振地域の多くの市町において課題となっている「農林水産業における担い手の育成・確保」について、新たに項目を設けてはどうか。</p>	<p>「農林水産業における担い手の育成・確保」については、「地域を支える人材の確保」として、一次・二次・三次産業すべての人材の確保を図る必要があると課題を整理しております。</p> <p>その上で、いただいた御意見を踏まえ、〈5地域重点政策ユニット〉「住みたい・訪れたいいぶり地域づくりプロジェクト」の主な取組方向の中に、「就業しやすい環境づくりによる、農林水産業の担い手確保・育成」を追加し、具体的な取組として整理しました。</p>
<p>【道央・「3 これまでの取組と課題」】</p> <p>胆振地域の「地域資源を活用した関係人口の創出・拡大と地域を支える人材の確保」において、移住相談等を広域的に取り組み、胆振地域の多くの市町が課題として捉えている「移住・定住の促進」に関する文言を加えてはどうか。</p>	<p>「移住・定住の促進」については、「関係人口の創出・拡大」を図ることで、当該取組が促進されるものと考えております。</p> <p>また、〈5地域重点政策ユニット〉「住みたい・訪れたいいぶり地域づくりプロジェクト」の主な取組方向の中で、「地域おこし協力隊等との連携による移住・定住の促進」に取り組むこととしており、具体的な取組として整理しております。</p>

C

A

B

意見の概要	意見に対する道の考え方
<p>【道央・「4 主な施策の展開方向」】</p> <p>胆振地域の「振興局所管地域の重点的な施策の方向」において、「農林水産業における担い手の育成・確保」や「移住・定住の促進」について記載してはどうでしょうか。</p>	<p>「農林水産業における担い手の育成・確保」については、一次・二次・三次産業を含めて「地域の未来を支える人材の確保・育成」として整理しております。</p> <p>その上で、いただいた御意見を踏まえ、〈5地域重点政策ユニット〉「住みたい・訪れたいいぶり地域づくりプロジェクト」の主な取組方向の中に、「就業しやすい環境づくりによる、農林水産業の担い手確保・育成」を追加し、具体的な取組として整理しました。</p> <p>「移住・定住の促進」については、「関係人口の創出・拡大」を図ることで、当該取組が促進されるものと考えております。</p>
<p>【道央・「5 地域重点政策ユニット」】</p> <p>農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクトにおいて、「多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大」や「道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かしたワイナリーの集積」とあるが、現在、外国人による日本ウイスキーの転売が問題となっているため、越境 EC における酒類販売の法律を整備するなど、対策が必要。</p>	<p>御意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

A

C

意見の概要	意見に対する道の考え方
<p>【道南・「4 主な施策の展開方向」】</p> <p>持続可能な農林水産業の確立について、担い手の育成・確保が課題とされていますが、技能実習生や外国人労働者も含まれるでしょうか。</p> <p>道南地域に限りませんが、第一次産業を基幹産業とする地域では、さまざまな外国人労働者に依存している実態があります。特定技能制度の導入によって、今後は外国人労働者に選ばれる地域であることが重要となるでしょう。そのためにどのような取組に着手すべきか。北海道全体としても考える必要があると思われまます。</p>	<p>道南連携地域政策展開方針における「地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト」では「新規就業につながる担い手対策」を推進し、地域の後継者となる人材の育成・確保を進めることとしております。</p> <p>そのため、在留期間が限られている技能実習生や外国人労働者は含めずに、地域に長期間住むことができる担い手を育成・確保することを課題としています。</p> <p>なお、道では、国の機関や関係団体とともに昨年立ち上げた「北海道外国人材受入れ・定着・共生連携会議」などを活用し、外国人材に係る課題の整理を行いながら、求職者とのマッチングによる人材確保の支援などに取り組んでおり、第一次産業分野においても、外国人材の受入状況等の現状や課題を把握・共有することなどに取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道南・「5 地域重点政策ユニット」】</p> <p>縄文文化の魅力発信について、施設等の多言語化については、とても良い取組だと感じます。世界に発信できる遺跡群として、多言語での発信、パンフレットの作成などグローバルな取組を期待します。</p>	<p>道南連携地域においては、縄文文化の魅力発信について、パネル展をはじめとする縄文関係イベントの開催などの取組を進めております。</p> <p>御意見の趣旨を踏まえ、施設等の多言語化の促進など縄文文化の魅力発信に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【十勝・「3 これまでの取組と課題」】</p> <p>男女平等参画意識を高める取組について、十勝地域は、歴史文化的にも男女平等の機運が進んでいる地域だと認識しております。その優位性を強みとして、世界に評価される地域となる取組を期待します。</p>	<p>十勝連携地域においては、男女平等参画の機運醸成を図るため、女性の活躍推進に係るセミナーの開催やロールモデルの発信等の取組を実施しております。</p> <p>御意見の趣旨を踏まえ、引き続き、男女平等参画意識を高める取組に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>